

令和8年度 採用10年目職員研修 実施要領

- 目的 自己の能力や組織の中での役割を理解し、課題発見・解決力と政策力を持つ職員を育成する。
- 対象者 勤務年数10年目の職員
- 定員 各48人

日程		会場	備考	形式
9:30	●Aコース 5月18日(月)	高知県自治会館	○事前課題 なし ○持参物 職場でお使いの名札 筆記用具	 グループワーク
}	●Bコース 6月3日(水)	高知県自治会館		
	●Cコース 8月27日(木)	高知県自治会館		
	●Dコース 8月28日(金)	高知県自治会館		
	●Eコース 9月14日(月)	高知県自治会館		
17:00	●Fコース 11月25日(水)	四万十市役所		

カリキュラム

A・B・Fコース 仕事と職場と 自分の関係を編み直す ～期待される役割を 自分らしく担うために～	概要 : 培ってきた経験や自分の個性を見つめ直し、中堅職員として期待される役割を自分らしく担っていくための物事の捉え方や考え方を身につける。
	講師 : 一般社団法人日本経営協会 講師 代田 敬子 講師から : 10年目となると、仕事のことも組織のこともよくわかり、自分なりの仕事のやり方が形作られていると思います。この研修では、そうして積み重ねてきた経験を、同じ年月様々な経験を重ねてきた人たちと分かち合うことで、自分の現在地を確認します。そして今後期待される役割を担うために、自己理解や他者理解のワークを通じて自分の活かし方も見つけます。節目となるこの機会にしっかりと足場を固め、新たなステージに向かうための1日にしていきましょう。
C・D・Eコース 地方創生と政策づくり	概要 : 地方創生における職員の役割を認識する。また、事例を通じて客観的に物事をとらえ、地域課題の発見・分析・解決へと導く政策について考える。
	講師 : 関東学院大学法学部 教授 牧瀬 稔 講師から : 政策づくりのための基本的な思考をご紹介します。私自身が、地方自治体の政策づくりの現場に入り、実際に使ってきた手法になります。もちろん、成功事例だけではなく、当然、失敗事例もあります。(本当は、失敗したらまずいのですが…) また、成功事例や失敗事例も紹介します。そして、そうなった要因を分析します。本研修は、自治体職員が持つべき最低限の政策思考を講義したいと思います。

※採用10年目職員研修は、講師によりそれぞれ研修内容が異なります。日程のみでなく、自身の業務内容とカリキュラムを確認して選択してください。